

VW GOLF GTI



↑段違いに、そして床高がリニアアウトされたマフラー・トップにはもちろんABTのロゴが、リアスカートはディフューザー形状となる

↑縦に4つ並んだデイトライトやフォグ、両サイドのインタークなどにより立体的なフェイスを構築、リップ部にはカーボンがあしらわれている

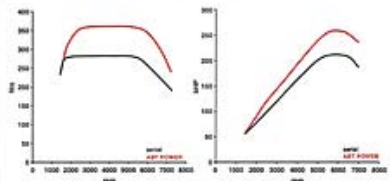


SPEC
 フロントスカート¥107,100 / サイドスカート¥76,650 / リアスカートセット ¥210,000 / リアスポイラー¥42,000 / フロントグリル¥37,800 (撮影車未装着) / オプティクキット¥80,850 / フォグランプキット¥45,150 / スプリングセット¥45,150 / ABT POWER¥177,450



↑車両側のOBD2ポートとパソコンを専用のケーブルでつなぎ、プログラムをABTへ送信。その後変更されたプログラムを再インストールすれば終了。1時間足らずで作業は終了する

→プログラムをインストールしたユーザーに渡されるカード。車両のIDなどが記録される。所有欲をくすぐられるアイテム



↑トルクの厚みは当然としている。真中を押し出される感覚は純正GTIとは格段に違い、それがトップエンドまで継続する

↑パワー上昇の角度が純正よりも急になっているのが見てとれる。スムーズに早い。これがABT POWERの特長といえる

	Power	Torque	topspeed	0-100km/h
ABT POWER	265ps/5700rpm	300kgm/2000-5100rpm	255km/h	6.4sec
BASE	215ps/5300-6200rpm	280kgm/1700-5200rpm	238km/h	6.9sec

↑この速い通り大福なパワー&トルクアップが望める。ちなみにCO2の排出量はどちらも173g/km。チューニングしても環境への影響は純正と変わらないのだ

GOLF STYLE COLLECTION 2010・2011

ABT POWER

同乗ラガーコーポレーション TEL.049-853-2222
<http://abt-sportline.co.jp/>
 写真・小林 健 文章・阿崎暁輔 (af imp.編集部)

トップチューナーが磨き込んだGTIマネジメントプログラム
 ABTが提供するECUチューニングプログラム「ABT POWER」は、ODD2ポート経由の書き換えで、簡単に効果的なパワー&トルクアップが可能だ。今回はホンダパフォーマンスマンスタジアムで発行したゴルフGTIをテストした。

ECUプログラムの変更でGTIの真の実力を引き出す
 ドイツ名門のチューンドとして、VW・アウディのエンジニアリングシーンを牽引するABT。創立はなんと1974年という超老舗。多くのVW・アウディ車のチューニングを手掛けているDTMではアウディワークスとして参戦して多くの勝利を獲得。リアルなレースフィールドからのフィードバックによってチューニングが施されたクルマは、常に多くのカスターマーに支持されている。

今回は、ABTのECUチューニングが施された6GTIに乗った。アクセルワークに応じて、車速がスムーズに上がっていく。特に2000rpmを超えてからのトルク感ほノーマルよりも明らかに強く、グンと背中を押してくれる。上のグラフからもわかるとおり、中間での増し方はノーマルよりも急激で、立ち上がったパワー&トルクは思ッきなく6000回転手前まで伸びている。DSGとの相性もよく、切れ目のない加速感は一変味わうとクセになリそうだ。パーシャルで流している状態からパドルでスバットとシフトダウンして、アクセルを踏み込めば、G

↑最新作となSCR、低を強く5x2スポークはABTの新しい風。走り出しの美しさは絶品だ

↑T1は再び鋭い疾走を始める。街中でのパフォーマンスも十分に上だし、高速やサーキットでも楽しめるはずだ。ノーマルからパワーで50馬力、トルクで80Nmのアップとなるが、扱いにくさは皆無。日常ユースにまったく支障を来さないのも、ABTのチューニングが練り込まれたものである。ODD2ポートから吸い出したノーマルのECUデータをも、ドイツ本国のABTへと転送。その後チューニング済みのデータダウンロードし、再度ODD2ポートからインストールすれば完了。その間わずか1時間足らず。この手軽さもまた嬉しいものだ。

最後にボディにも触れておこう。テストカーのGTIは、グリルを除いてすべてABTのアイテムでコーディネート。存在感の強いエアロデザインや最新作のホイールCOMPを、ABTらしい、スポーティなコンプリートスタイルが買かれている。強心臓に見合ったスタイリングだ。

